令和6年度 家串小学校 後期自己評価書

：郡内共通目標 **赤字：統一質問事項関連** 5ポイント以上改善 5ポイント以上低下

：郡内共通目標

：グランドデザインとの関係

重点目標	評価指標及び目標値(期待される姿)	評価	考察(◇)及び改善方策(◆)	評価資料	アンケート結果(%)				
					4	3	2	1	?
1 確かな学力の定着と向上に努める	確かな学力の定着向上に向けて計画的・組織的に学習指導の工夫を行っているか。 目標値：教職員・保護者の85%以上が肯定	A	◇教職員の肯定率が100%、保護者の肯定率が93.3%で、高い評価となった。保護者の肯定率が100%ではないが、児童の学力の経年変化の様子から判断すると、発達段階に即した指導がなされていると思われる。ただし、思考力や表現力の育成においては指導の工夫が必要である。 ◆全国学テや県学力診断調査等の結果から、本校における児童の課題の分析を行い、学習指導に必要な情報としてそれを共有しているところである。今後は、思考ツールの活用や書く活動の工夫などの研修を進め、指導に生かしていく。	教職員(Q1①) 16.7 83.3 0.0 0.0 R6前期 33.3 66.7 0.0 0.0 保護者(Q1) 13.3 80.0 6.7 0.0 R6前期 20.0 80.0 0.0 0.0 教職員の肯定評価：100% 保護者の肯定評価：93.3%					
	小規模校のよさを生かした園に応じたきめ細かい指導の充実に向け、児童に基礎・基本を身に付けさせることができているか。 目標値：単元テスト(国語・算数)の正答率平均値が80点以上を達成。教職員の85%以上が肯定	A	◇教職員の肯定率は100%である。しかし、4の評価が前回より大幅に下がっている。単元テストの結果では、国語科算数科ともに目標値を上回っているが、自分の思いや考えを持って書くこと、話すことに困難を感じている児童がいるように思える。 ◆書くこと、話すことの訓練が必要である。人に頼らず自分の言葉で自分の思いや考えを表現できる力が、本校児童には必要である。体験活動を通して自分の思いや考えを持って各教科で学習した言葉を使って考えをまとめるために、感想発表の場を頻繁に設定したり意図的計画的に短作文を書かせたりする。	教職員(Q2①) 16.7 83.3 0.0 0.0 R6前期 100.0 0.0 0.0 0.0 国語科62.4% 算数科83.1%(R6年度 2学期) 国語科78.7% 算数科78.5%(R6年度 1学期)					
	学年×15分の家庭学習の習慣が身に付いているか。 目標値：教職員・児童・保護者・の85%以上が肯定	B	◇家庭学習の習慣化については、学習進度との兼ね合いも配慮しなければならないが、各学級での家庭学習の量が適切でないことが考えられる。また、一人一人に応じた指導が不十分で、家庭学習の定着に至らないのではないかと推測される。 ◆来年度を見据え、低学年児童を中心に家庭学習の手引きを配布するとともに、家庭学習の量について研修会等で検討する。また、家庭学習の習慣が定着していない児童については、継続的に家庭と連携を取って指導を行う。	教職員(Q1③) 33.3 66.7 0.0 0.0 R6前期 66.7 33.3 0.0 0.0 児童(Q13) 30.4 26.1 34.8 8.7 R6前期 39.1 26.1 17.4 17.4 保護者(Q2) 0.0 60.0 40.0 0.0 R6前期 0.0 60.0 33.3 6.7 教職員の肯定評価：100%—100%(1学期) 児童の肯定評価：56.5%—65.2%(1学期) 保護者の肯定評価：60%—60%(1学期)					
	コンピュータ等を使った学習は楽しいか。 目標値：教職員・児童の85%以上が肯定	A	◇教職員の肯定率は100%であったが、4の割合は下がった。児童の肯定率は100%となり、4の割合は若干上がった。教職員、児童共に、前期に比べ、若干ではあるが数値的には上昇している。 ◆改善方策として予定していたICT支援員を活用を行うことができなかった。次年度の研修の中に、ICTを活用した実践的な研修を、学期に1回程度計画する。	教職員(Q1②) 33.3 66.7 0.0 0.0 R6前期 50.0 33.3 16.7 0.0 児童(Q5) 78.3 21.7 0.0 0.0 R6前期 73.9 26.1 4.1 0.0 教職員の肯定評価：100% 児童の肯定評価：100%					
2 生徒指導の徹底と健全育成に努める	教育相談やアンケートなどを実施し、児童一人一人の悩みを把握し、いじめを解消する手立てを講じているか。 目標値：教職員・児童の85%以上が肯定	A	◇肯定率は教職員、児童共に100%で、前回と比較して4の割合が上がっている。毎月教育相談を行ったり、児童同士のトラブルがあった際には詳しく話を聞いたりして即対応したことが要因ではないかと考えられる。 ◆定期教育相談をより充実させるために、教育相談で得た情報を正確に記録したり、研修会等で共通理解を図る場を設けたりして、多くの目で児童を見守るように努める。	教職員(Q2②) 83.3 16.7 0.0 0.0 R6前期 50.0 50.0 0.0 0.0 児童(Q2) 52.2 47.8 0.0 0.0 R6前期 39.1 60.8 0.0 0.0 教職員の肯定評価：100% 児童の肯定評価：100%					
	全ての児童が、楽しいと言える学校づくりに努めているか。 目標値：教職員・児童・保護者の85%以上が肯定	A	◇全体的に肯定率は高いが、4の割合は減少している。また、2と評価した児童・保護者が数人いた。いじめのような明確な事象でなくても、学校生活に不安や不満を感じている児童がいると考えられる。 ◆全ての児童が「できた」「やってよかった」という充実感を味わえるような授業や学校行事等を実施するために、より実践的な研修を行ったプロジェクトチームの動きを活性化させたりする。 ◆全教職員が全ての児童の心に寄り添い、困ったことがあればいつでも相談しやすい雰囲気作りを努める。また、保護者との関わりにも十分配慮する。	教職員(Q2③) 33.3 66.7 0.0 0.0 R6前期 33.3 50.0 16.7 0.0 児童(Q1) 60.9 30.4 8.7 0.0 R6前期 78.3 17.4 0.0 4.3 保護者(Q6) 26.7 66.7 6.6 0.0 R6前期 30.0 70.0 0.0 0.0 教職員の肯定評価：100% 児童の肯定評価：91.3% 保護者の肯定評価：93.4%					
	児童は進んで挨拶ができているか。 目標値：教職員・児童・保護者・地域住民の85%以上が肯定	C	◇どの項目においても4評価が下がっている。決まった場所、決まった相手にしか挨拶ができないことが原因であると考えられる。子供たちの意識の中にも、もっと進んで挨拶をしなければならぬという気持ちがあるように思う。 ◆プレイワーミングやハートワーミング集会の時間に、挨拶を取り入れたゲーム的な活動を実施する。 ◆家庭内でも積極的に挨拶を交わしてもらえよう、学校だよりや学級通信で働き掛ける。	教職員(Q5③) 0.0 33.3 66.7 0.0 R6前期 16.7 50.0 33.3 0.0 児童(Q7) 30.4 56.5 8.7 4.4 R6前期 47.8 39.1 13.0 0.0 保護者(Q3) 0.0 86.7 13.3 0.0 R6前期 10.0 80.0 10.0 0.0 地域住民(Q1) 35.3 29.4 23.5 0.0 5.9 R6前期 37.5 37.5 25.0 0.0 0.0 教職員の肯定評価：33.3% 児童の肯定評価：86.9% 保護者の肯定評価：86.7% 地域住民の肯定評価：88.7%					
3 教職員の資質・能力と学校組織の活性化	職場全体で意識改革を図り、業務の見直しなどによる働き方改革を進めているか。 目標値：教職員の85%以上が肯定	A	◇前回と同様の評価となっている。校務支援システムの活用や公平性のある業務分担が図られているものと考えられる。 ◆引き続き校務支援システムの積極的活用に取り組むとともに、公平性のある業務分担を行い、全教職員が働きやすい職場づくりを進める。	教職員(Q4②) 50.0 50.0 0.0 0.0 R6前期 50.0 50.0 0.0 0.0 教職員の肯定評価：100%					
	校内及び校外の研修に主体的に取り組み、自己研鑽に努めたか。 目標値：教職員の85%以上が肯定	A	◇肯定率は100%である。先輩教員から授業のノウハウを伝達するミニ研修を行ったり、校外研修の伝達研修を行ったりすることで、授業に対する意識が向上し、自己研鑽を積むことができた。 ◆時間の都合がつかずに授業参観する「ちょこっと授業研」を行うことができなかったため、特に若年教員の研修の場として、月に1回程度を目途に「ちょこっと授業研」を計画する。	教職員(Q4①) 66.7 33.3 0.0 0.0 R6前期 50.0 50.0 0.0 0.0 教職員の肯定評価：100%					

4 豊かな心を育てる教育の推進	<p>友達や教職員、地域の人々との交流を通して、思いやりの心や、優しい態度が育っているか。 目標値：教職員・保護者・地域住民の85%以上が肯定</p>	A	<p>◇教職員、保護者ともに85%を上回ったが、地域住民の5の回答(分らない)が23.5%と多かった。学校行事や地域行事を通しての交流は増えてきているが、児童の思いやりの心や、優しい態度が育成しているかどうか見取することは難しいのではないかと考えられる。 ◆地域行事についての情報提供を依頼し、児童に積極的に参加するよう呼び掛けるとともに、事前・事後指導を充実させる。 ◆児童が行っているハートウォーミング集会の感想やハートレターの内容などを学級通信、学校だより、ホームページ等を通して発信し、児童の心の成長を伝える。</p>	<table border="1"> <tr><td>教職員(Q3①)</td><td>33.3</td><td>66.7</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>R6前期</td><td>33.3</td><td>66.7</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>保護者(Q9)</td><td>26.7</td><td>80.0</td><td>13.3</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>R6前期</td><td>40.0</td><td>50.0</td><td>10.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>地域住民(Q2)</td><td>29.4</td><td>35.3</td><td>5.9</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>R6前期</td><td>18.8</td><td>62.5</td><td>12.5</td><td>0.0</td></tr> </table> <p>教職員の肯定評価:100% 保護者の肯定評価:86.7% 地域住民の肯定評価:84.6%</p>	教職員(Q3①)	33.3	66.7	0.0	0.0	R6前期	33.3	66.7	0.0	0.0	保護者(Q9)	26.7	80.0	13.3	0.0	R6前期	40.0	50.0	10.0	0.0	地域住民(Q2)	29.4	35.3	5.9	0.0	R6前期	18.8	62.5	12.5	0.0
	教職員(Q3①)	33.3	66.7	0.0	0.0																													
	R6前期	33.3	66.7	0.0	0.0																													
保護者(Q9)	26.7	80.0	13.3	0.0																														
R6前期	40.0	50.0	10.0	0.0																														
地域住民(Q2)	29.4	35.3	5.9	0.0																														
R6前期	18.8	62.5	12.5	0.0																														
<p>地域の人々との交流活動や勤労・奉仕などの体験活動の推進に努めたか。 目標値：教職員の85%以上が肯定</p>	A	<p>◇学校行事やふるさと学習会、総合的な学習等を通して地域との交流する機会は多くあった。夏休みの早引きに児童も参加したのはよかったと思う。時間的にこれ以上活動を設定するのは難しい。 ◆教育活動において、地域と一緒に活動できる内容は、積極的に交流できるように計画していく。</p>	<table border="1"> <tr><td>教職員(Q3③)</td><td>50.0</td><td>50.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>R6前期</td><td>50.0</td><td>33.3</td><td>16.7</td><td>0.0</td></tr> </table> <p>教職員の肯定評価:100%</p>	教職員(Q3③)	50.0	50.0	0.0	0.0	R6前期	50.0	33.3	16.7	0.0																					
教職員(Q3③)	50.0	50.0	0.0	0.0																														
R6前期	50.0	33.3	16.7	0.0																														
<p>認め合い、支え合い、高め合う支持的風土をもった集団づくりに努めたか。 目標値：教職員・児童・保護者の85%以上が肯定</p>	B	<p>◇教職員の肯定率は100%となり、全ての教職員が支持的風土をもった集団づくりに努めたことがうかがえる。また、児童の肯定評価は前期と比較すると上昇しているが、目標値には達していない。教職員と児童間での意識の差があまり埋まっておらず、不満を感じている児童がいることが考えられる。 ◆教職員が積極的に児童の良いところを見つけ伝えることを意識する。また、ハートレターや集会、各学級等で友達の良さや感謝の気持ちを伝える機会を設定し、どの児童も大切にされていると感じることができるよう、学校全体の支持的風土を醸成する。</p>	<table border="1"> <tr><td>教職員(Q3②)</td><td>16.7</td><td>83.3</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>R6前期</td><td>50.0</td><td>33.3</td><td>16.7</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>児童(Q8)</td><td>21.7</td><td>47.8</td><td>30.4</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>R6前期</td><td>21.7</td><td>34.8</td><td>30.4</td><td>13.0</td></tr> </table> <p>教職員の肯定評価:100% 児童の肯定評価:69.5%</p>	教職員(Q3②)	16.7	83.3	0.0	0.0	R6前期	50.0	33.3	16.7	0.0	児童(Q8)	21.7	47.8	30.4	0.0	R6前期	21.7	34.8	30.4	13.0											
教職員(Q3②)	16.7	83.3	0.0	0.0																														
R6前期	50.0	33.3	16.7	0.0																														
児童(Q8)	21.7	47.8	30.4	0.0																														
R6前期	21.7	34.8	30.4	13.0																														
5 健康教育の推進	<p>児童は健康に気を付け、元気に学校生活を送ることができているか。 目標値：「全員出席の日」授業日数の75%以上を達成</p>	B	<p>◇全員出席の日は2学期末現在で、119日(79.3%)であり、目標値の75%以上ではあるものの、1学期と比較すると欠席する児童が多く見られた。2学期全体を通して低学年の欠席が多く、咳や発熱など風邪症状が主な欠席理由である。出席停止や遅刻、早退の児童も多く見られた。 ◆2学期は教室の換気が不十分であったため、休み時間の換気を行う。低学年には手洗いがいかにしてももう一度指導を行う。また、今後も引き続き、保健集会や保健だよりなどを通して正しい情報を発信するとともに、学級担任や家庭と連携しながら、規則正しい生活習慣についての指導を継続していく。</p>	<table border="1"> <tr><td>R6後期</td><td>117日</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>R6前期</td><td>58日</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>1学期末で58日(81.6%)達成 2学期末で117日(78.0%)達成</p>	R6後期	117日				R6前期	58日																							
	R6後期	117日																																
	R6前期	58日																																
<p>朝マラソン、放課後の体育的活動を中心に、児童の体力増進と健康の保持増進に積極的に取り組めたか。 目標値：教職員・児童・保護者の85%以上が肯定</p>	A	<p>◇児童の肯定的評価が上がらないのは、運動に対する意識の差が出ていると考えられる。休みの過ごし方を見ても集団で遊んでいることがほとんどなく、プランでのんびり時間を過ごす児童が多い。また、運動が苦手な児童が多くなっている。 ◆朝活動は持久走を中心に行っており、3学期の校内持久走大会を目標に意識を高めていく。また、放課後の体育的活動については陸上大会も終わり、一区切りついたが、6年生との思い出を作る全校遊びの回数を休みに増やしていく。</p>	<table border="1"> <tr><td>教職員(Q5④)</td><td>0.0</td><td>100.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>R6前期</td><td>16.7</td><td>83.3</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>児童(Q11)</td><td>26.1</td><td>43.5</td><td>21.7</td><td>8.7</td></tr> <tr><td>R6前期</td><td>26.1</td><td>43.5</td><td>21.7</td><td>8.7</td></tr> <tr><td>保護者(Q7)</td><td>20.0</td><td>73.3</td><td>6.7</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>R6前期</td><td>40.0</td><td>60.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> </table> <p>教職員の肯定評価:100% 児童の肯定評価:100% 保護者の肯定評価:93.4%</p>	教職員(Q5④)	0.0	100.0	0.0	0.0	R6前期	16.7	83.3	0.0	0.0	児童(Q11)	26.1	43.5	21.7	8.7	R6前期	26.1	43.5	21.7	8.7	保護者(Q7)	20.0	73.3	6.7	0.0	R6前期	40.0	60.0	0.0	0.0	
教職員(Q5④)	0.0	100.0	0.0	0.0																														
R6前期	16.7	83.3	0.0	0.0																														
児童(Q11)	26.1	43.5	21.7	8.7																														
R6前期	26.1	43.5	21.7	8.7																														
保護者(Q7)	20.0	73.3	6.7	0.0																														
R6前期	40.0	60.0	0.0	0.0																														
<p>「早寝、早起き、朝ごはん」の習慣が身に付いているか。 目標値：児童・保護者の85%以上が肯定</p>	B	<p>◇児童・保護者ともに、目標値の85%には達していない。保護者の肯定評価は上がっているが、児童の肯定評価は下がっている。睡眠に課題がある児童や、朝ごはんを食べる時間が十分に確保できない児童がいることが原因である。 ◆「早寝・早起き・朝ごはん」の啓発を継続していく。朝ごはんに関しては、菓子パンやお菓子だけを食べてきている児童がいる。保護者や学級担任との情報共有を密にしながら、朝ごはんの内容についても児童の実態に合わせて指導・啓発を行っていく。</p>	<table border="1"> <tr><td>児童(Q12)</td><td>34.8</td><td>30.4</td><td>34.8</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>R6前期</td><td>43.5</td><td>34.8</td><td>17.4</td><td>4.3</td></tr> <tr><td>保護者(Q5)</td><td>33.3</td><td>46.7</td><td>20.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>R6前期</td><td>30.0</td><td>40.0</td><td>30.0</td><td>0.0</td></tr> </table> <p>児童の肯定評価:65.2% 保護者の肯定評価:80.0%</p>	児童(Q12)	34.8	30.4	34.8	0.0	R6前期	43.5	34.8	17.4	4.3	保護者(Q5)	33.3	46.7	20.0	0.0	R6前期	30.0	40.0	30.0	0.0											
児童(Q12)	34.8	30.4	34.8	0.0																														
R6前期	43.5	34.8	17.4	4.3																														
保護者(Q5)	33.3	46.7	20.0	0.0																														
R6前期	30.0	40.0	30.0	0.0																														
6 安全・安心な学校づくりの推進	<p>防災に努め、定期的な点検を実施し、施設・設備の維持管理、安全確保に努めているか。 目標値：教職員・保護者・地域住民の85%以上が肯定</p>	B	<p>◇教職員は前期と同じである。保護者の4の評価は若干上がったものの、2評価も若干名増えたことにより、肯定率は93.4%となった。校舎内外の老朽化による施設設備の破損等が原因だと考えられる。地域住民の肯定率は15ポイント上昇した。今年度も防災教育を推進するとともに、地区合同避難訓練を工夫改善して実施したことにより、防災に対する意識の向上が図られたものと考えられる。来年度も、地域を巻き込んだ防災教育、地域への啓発を続けていくことが大切である。 ◆地域合同避難訓練、地域防災学習会等、工夫改善を重ね、地域を巻き込んだ取組を推進していく。 ◆より細やかな安全点検を実施し、施設・設備の適切な管理に努める。</p>	<table border="1"> <tr><td>教職員(Q5②)</td><td>66.7</td><td>33.3</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>R6前期</td><td>66.7</td><td>33.3</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>保護者(Q11)</td><td>40.0</td><td>53.3</td><td>6.7</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>R6前期</td><td>30.0</td><td>70.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>地域住民(Q7)</td><td>23.5</td><td>35.3</td><td>5.9</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>R6前期</td><td>18.8</td><td>25.0</td><td>12.5</td><td>0.0</td></tr> </table> <p>教職員の肯定評価:100% 保護者の肯定評価:93.4% 地域住民の肯定評価:58.8%</p>	教職員(Q5②)	66.7	33.3	0.0	0.0	R6前期	66.7	33.3	0.0	0.0	保護者(Q11)	40.0	53.3	6.7	0.0	R6前期	30.0	70.0	0.0	0.0	地域住民(Q7)	23.5	35.3	5.9	0.0	R6前期	18.8	25.0	12.5	0.0
	教職員(Q5②)	66.7	33.3	0.0	0.0																													
R6前期	66.7	33.3	0.0	0.0																														
保護者(Q11)	40.0	53.3	6.7	0.0																														
R6前期	30.0	70.0	0.0	0.0																														
地域住民(Q7)	23.5	35.3	5.9	0.0																														
R6前期	18.8	25.0	12.5	0.0																														
<p>防災教育の充実を図り、自分の命は自分で守ろうとする態度が育っているか。 目標値：教職員・児童の85%以上が肯定</p>	A	<p>◇教職員の肯定率100%、児童の肯定率95.7%で、高い肯定率である。しかし、教職員の4の評価は下がった。防災教育に取り組むことにより、さまざまな課題に気づき、課題解決の必要性を感じているのではないかと考えられる。 ◆今後も、さまざまな場面を想定した避難訓練を実施するとともに、安全教育を推進することにより「自助」から「共助」へと意識やスキルを高めていく。</p>	<table border="1"> <tr><td>教職員(Q5⑤)</td><td>33.3</td><td>66.7</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>R6前期</td><td>66.7</td><td>33.3</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>児童(Q9)</td><td>82.6</td><td>17.4</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>R6前期</td><td>87.0</td><td>8.7</td><td>4.3</td><td>0.0</td></tr> </table> <p>教職員の肯定評価:100% 児童の肯定評価:100%</p>	教職員(Q5⑤)	33.3	66.7	0.0	0.0	R6前期	66.7	33.3	0.0	0.0	児童(Q9)	82.6	17.4	0.0	0.0	R6前期	87.0	8.7	4.3	0.0											
教職員(Q5⑤)	33.3	66.7	0.0	0.0																														
R6前期	66.7	33.3	0.0	0.0																														
児童(Q9)	82.6	17.4	0.0	0.0																														
R6前期	87.0	8.7	4.3	0.0																														
7 その他 学校運営協議会委員の所見	<p>【1種かな学力の定着と向上に努める】 ◆友達との競争心もあるが、自分自身の向上意欲も見られるようになってきた。とてもいい傾向にある。◆学校だけでなく、保護者も子供たちとコミュニケーションをとり、勉強しやすい環境をつくってほしい。◆複式学級ではあるものの、子供たちに合わせて学習内容を工夫している。小規模校では、人前で発表したりする機会が多いので、将来役立つ。家庭ではゲームをしすぎている。漫画でもいいので、文字を読むようにさせたい。◆小規模校ならではの個性に合った学習が行われている。自分の考えを自分の言葉で伝えることができる。文字を丁寧に、枠内でおさまるように書くよう努力している。◆予習復習や宿題の時間を1時間くらい作る。 【生徒指導の徹底と健全育成に努める】 ◆顔見知りの人には、いつでも挨拶ができている。地域の方でも、児童の下校に合わせて外に出て、みんなが挨拶し合う環境ができるといい。◆休み明けに行く学校は、やっぱり楽しいと子供たちから聞くことが多かった。◆子供から「大人から」ではなく、大人も子供と挨拶が飛び交う地域を目指していかなければならない。3世代交流会のときも、子供たちの挨拶はあまり良くなかった。◆子供たちが相談できる場を設けているのは、とてもいいと思う。挨拶は、いつも元気に自分からしてきている子が多い。◆特に、高学年の児童の挨拶が良くなっている。男女・学年関係なく、みんなが仲良く活動している。 【教職員の資質・能力と学校組織の活性化】 ◆先生が熱く声を掛けてくれたおかげで、子供たちの成長が見られた。◆地域に、先生の顔や名前を覚えてもらえるようにしてほしい。◆教職員のチームワークの良さや雰囲気は子供たちに伝わるので、このまま継続してほしい。◆力のあるベテランの先生方がいらっしやるので、若い先生には、自己研修として学んでいただきたい。 【4歳かな心を育てる教育の推進】 ◆12月にもちつき大会に参加させていただいた。児童が優しく保育所園児にちのれ方を教えてくれたなど、微笑ましい場面が見られた。また、もちつきという家庭で行うことが少なくなった伝統行事を、PTAが一体となって行えたということは、子供たちにとってもいい経験になったのではないかと感じる。◆体験活動を取り入れるのは大変だと思うが、ふるさと学習会など続けてほしい。 ◆地域行事に参加し、周りに配慮している姿を見るようになった。◆子供たちが地域行事に参加し、地域とのコミュニケーション、絆を深めてほしい。◆なるべいくいろいろな体験をさせたい。 ◆保護者や地域と力を合わせた活動は、有益である。◆1日1回、必ず良いことをする。 【5健康教育の推進】 ◆体力づくりは、子供たちの体調をみながら積極的に行われている。教師の見えないところで力を抜いている子供もいた。◆早寝早起き朝ごはんは、保護者もいっしょに取り組んでほしい。◆早寝早起き朝ごはん運動は、する人はするし、しない人はしない。それは、大人も同じである。大人が、子供たちの手本となれるような生活しなければならぬ。◆現ごっこ等とおして、「走る」力を伸ばすことにつながっているのではないかと感じる。夏・秋・冬・春の長期休暇は、家族や友達と自主的な運動に取り組ませたい。◆朝食の重要性を伝える。◆みんなで外に出て遊ぶ(遊びの中いろいろな学びがある)。 【6安全・安心な学校づくりの推進】 ◆地区合同避難訓練に保育所が参加できなかったことは残念であるが、地域を巻き込んだ防災訓練はこれからも必要である。◆地域合同避難訓練が各地域で実践されている。地域ごとの差はあるが、それぞれに取組が工夫できるよう学校運営協議会で、事前に情報共有したのが良かった。(来年度も、事前に協議会で各自自治会長が情報共有できるように)グラウンドの早引きは、地域に声を掛けてみんなで行うようにする。◆地震・津波に関しては、今後も課題になると思う。地域全体で考えてほしい。◆子供たちの防災意識が地域の中で一番高いので、各地域で子供たちを中心とした防災訓練をして、地域の防災意識を高めてほしい。◆小学校の防災教育活動のおかげで地域も助かっている。これからも協力していきたい。◆地域合同避難訓練は、とても良かった。今後は、自動車での避難訓練をして、避難時のルールづくりをしていく予定である。◆自治会、地域住民との関わりを強化する。</p>																																	